



おすすめ児童書1月

啓林堂書店 外商部

担当 森川・蔵田・渡辺・八部

Tel 0743-51-1000 / Fax 0743-53-5151

e-mail gaisyoubu@books-keirindo.co.jp

啓林堂書店HP <http://www.books-keirindo.co.jp/>

▽ 幼稚園・保育園以上



じゅっぴきてごさる

作 エクトル・シエラ
絵 高島純

¥1,404

「おはなしきてくださる？」と言って、こちらを見ている10匹のさる。パズールへ行ったり、リハーサルしたりして、1匹ずつ減っていき、最後は誰もいなくなっていました。でも、さるがいないのはさびしい。それで…ラストのオチがすごいでござる！ユーモアたっぷりの絵本。

佼成出版社 : 2013年 発売



サルくんとバナナのゆうえんち

作・絵 谷口智則

¥1,620

ひとりぼっちのサル君が迷い込んだ「バナナゆうえんち」。バナナ1本で1つの乗り物に乗れます。色々な乗り物に乗るけど、何か楽しくないサル君。迷子のウサギさんに出会って2人で遊園地を出る事に。でも出るためのバナナは1本しか残ってなくて…2人はバナナをどう使ったでしょう？

文溪堂 : 2014年 発売

▽ 小学生以上



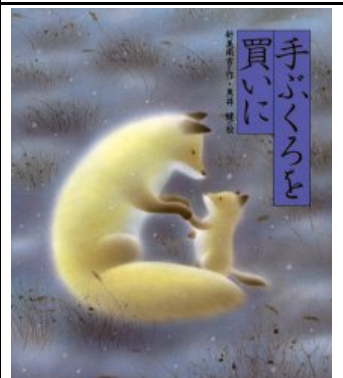
さるのオズワルド

作 エゴン・マチャーセン
訳 松岡享子

¥1,404

毎日楽しく暮らしていたさるのオズワルドたちの所に、いぼりやのボス猿がやってきてやりたい放題。みんなは恐くて我慢してたけど、ある日オズワルドが叫びました。「いやだ！」すると…。声に出して読んで下さい。最後まで読むと表紙の大きなリンゴの意味がわかる仕掛けになっています。

こぐま社 : 1998年 発売



手ぶくろを買いに

作 新美南吉
絵 黒井健

¥1,512

冷たい雪で牡丹色になった子ぎつねの手を見て、母ぎつねは町へ行って手袋を買ってやろうと出かけます。しかし昔の怖い出来事を思い出して…。新美南吉の有名な作品です。無邪気な子ぎつねや店の主人の思いやり、母ぎつねの「ほんとうに人間はよいものかしら」というつぶやき。作者が伝えたかった思い…。しんとした冬に読んで考えてみたくなる絵本。

偕成社 : 1988年 発売